

令和6年度 上田市立 塩田中学校 学校評価シート【年度末】

学校教育目標	めざす子どもの姿（中期的目標）	
1 充実した学習を積み上げる 2 たくましい心身を育てる 3 正しい道義心を伸ばす 4 豊かな心情を培う ～考える・鍛える・慈しむ～	ふるさとに愛着と誇りをもち、知・徳・体が調和し、社会的に自立した人間 ～「あいさつ」「清掃」「合唱」を中核として～	
	今年度の重点目標	
	1	生徒が安心して生活できる学校づくり
	2	主体的に考え、判断し、活動する生徒の育成
	3	地域との連携＝開かれた学校

領域	対象	評価項目	評価の観点
学校教育	学習指導	主体的に学び、自らの考えを表現できる生徒	「学習問題」「学習課題」が提示され、ねらいをもった授業展開がなされているか
			授業の終末では、自分の学びを表現する「振り返り」の時間が設定されているか
			ICT機器が効果的に活用された授業展開がなされているか
			生徒が「分かる・できる」を実感できる探究的な授業になっているか
	生徒指導	適切な生徒理解	期限を定めた課題の提示やテスト前の自主学習期間を通じて主体的に家庭学習に取り組める環境がつかれているか
			各種アンケートや教育相談日を活用し、個々の良さを認めながら生徒一人一人との対話が行われているか
			生徒に寄り添った支援
			状況をふまえた適切な支援が行われているか
	生活指導	友や地域とつながる挨拶	生徒が自ら友や地域の方々に進んであいさつできるような支援ができているか
			生徒が自ら清掃場所を見つけ、時間いっぱい無言で行えるような支援ができているか
	教育課程	心を響かせる歌声	生徒が主体的に合唱活動に取り組めるような支援ができているか
			個と集団の成長を図る生徒会・部活動
			生徒の願いを取り入れた生徒会・部活動になっているか
学校運営	地域との連携	しおだっ子応援団や学生ボランティアとの連携	環境整備や学習支援、地域交流など積極的なボランティアの協力が得られているか
		「地域」を中心に据えた探究的な総合的な学習の時間	地域の協力を得ながら探究的な活動を行っているか
		開かれた学校づくり	学校だよりや学年だより、ホームページ等で学校からの情報が発信できているか

総合評価					
本校は、たくさんの地域の方々との協力を得ることができているが、どのような活動を行っていただいているか周知が十分ではない。地域の方々との交流を通して感謝と誇りを育み、充実した学校生活を送れるようにしたい。また、あらゆる場面で教師が生徒に寄り添い、丁寧な支援・指導を行い、生徒と共に成長できる関係を築きたい。					
成果と課題	A	B	C	D	改善策・向上策
●地域の方々の協力により、教育活動の充実を図ることができている。 ●生徒会を中心に、生徒が学校生活の課題を共有し、解決に向けた話し合いを行っている。		○			●学校の活動や取り組みについて、メールや学校ホームページなどを活用して周知を図る。 ●生徒が安心して学校生活を送れるよう、生徒会の活動を充実させる。
		○			
		○			

成果と課題	A	B	C	D	改善策・向上策
●年間を通して、視覚的・具体的・肯定的の3視点を意識した授業のユニバーサルデザイン化を推進し、全ての生徒が分かる・できる授業を目指して取り組んだ。ICT機器の活用については、生徒・職員アンケートの結果からも肯定的な回答が85%を超えるなど成果が出ている。 ●家庭学習については、主体的な取り組みとなるように、具体的な取り組み方や時間の使い方等、様々な支援をしていく必要がある。		○			●全ての生徒が「分かる・できる」授業を目指す。授業力向上のため、外部講師を招いて研修を重ね、日々の授業実践に活かす。 ●授業の終末には振り返りやまとめの時間を設け、学習内容の定着を図る。 ●家庭学習については、作業的な学習から主体的な学習への転換を目指す。家庭学習の目的や方法について、繰り返し指導しながら改善を図る。
		○			
		○			
		○			
●生徒アンケートからは、肯定的な回答が85%を超えている。しかしながら、悩みを抱えている生徒に対し、寄り添い、状況を踏まえた適切な支援をさらにしていく必要がある。		○			●各種アンケートにおいて、生徒が率直な意見や気持ちを書き込めるような環境づくりを大切にする。アンケート結果を踏まえ、生徒一人ひとりに応じた迅速な支援・指導を行う。
		○			
●生徒会（定例委員会）の時間を活用し、学校生活の課題等を委員同士で語る場を設けるなど、生徒が主体的に取り組めるように努めた。 ●生徒アンケートの結果から「あいさつ」「清掃」「合唱」などに主体的に取り組んでいると肯定的に捉えた回答が90%を超えている。		○			●現在行われている生徒会の当番活動や特別活動を大切にしながら、日常生活の質を向上させていく。また、定例委員会の時間を活用し、委員会ごと学校生活の課題や解決策を検討し合う時間を設けながら生徒の主体性を引き出していく。
		○			
		○			
		○			
●「総合的な学習の時間」に関わるアンケートは、保護者・生徒共に肯定的な回答が90%を超えている。 ●本校では、地域の方々や学生ボランティアの協力を得られているが、周知されていない面もある。		○			●学校の活動や取り組みが、さらに周知できるようにするために、各種通信等をメールを活用して発信していく。また、学校ホームページの充実を図る。
		○			
		○			

○ 評価基準 A…達成できた B…おおむね達成できた C…やや達成できなかった D…達成できなかった